

令和2年度(2020年度)株式会社ジェイコム東京中野局 放送番組審議委員会は、2021年3月30日(火)中野サンプラザ フォレストにて開催された。

【放送番組審議会委員】

宮島 茂明 様
佐々木 洋文 様(欠席)
長谷部 智明 様
高村 和哉 様
入野 貴美子 様
涌井 友子 様
田中 章生 様

ジェイコム東京
千葉 孝(局長)
大野 裕道(管理部長)
新井 博(地域プロデューサー)
中村 征爾(地域プロデューサー)
小山 彰太郎(地域プロデューサー)
白川 あい(地域コミュニケーション統括部 副部長)
東 照審(地域コミュニケーション統括部 中野制作チーム長)
宮本 夏帆(地域コミュニケーション統括部 中野制作チーム)

1. ご挨拶

事業者

2. 開会

事業者

3. 会長の選出

会長 宮島委員

副会長 高村委員

4. 審議

事業者側から J:COM チャンネル(11ch)と J:COM テレビ(10ch)について報告があった。

【質疑応答・意見交換】 進行:新井

◆番組について

委員

- ・コロナでリモート・電話対応が主となり、リアルに会うことが難しい一年間だったが、工夫して番組制作していると感じている。
- ・ほとんどのイベントが中止の中、番組制作が大変だったと感じている。

委員

・今回つながる NEWS の 1 回目に出させていただいた。その時はまだどういう番組がよく分からなかったが、今は軌道に乗ってきて、上手くいっていると感じている。またできることがあれば貢献したいと考えている。
・ZOOM 等が当たり前になり、取材の仕方に工夫を感じるが、出来ればリアルな取材も欲しい。今年もどうなるか分からないがさらに工夫していただきたい。

委員

・デイリーNEWS のころから仕組みもできているし、長々と散歩、人図鑑は定着してきたと感じている。視聴すると新たな発見がある、コロナ渦の中 TV 視聴が増え視聴率があがっていると考えている。

委員

放送には映像が必要なので、イベントがないと大変だと思うが、よく工夫されている。自分は新聞を月に 2 回発行しているが、イベントがないと記事が埋まらないため苦労している。J:COM も、動くものがないと絵にならないので大変だったと感じる。

委員

・コロナ渦の学校休校で子供たちも大変だったと思う。つながっていることが大事だと考えている。その中で色々な情報を発信していただいたのはありがたい。
・学校側も学びを止めないで出来る方法を考えてほしいと考えており、実際、各学校にがんばって頂いた。外部取材はお断りし、子どもたちだけでイベントをやらせてほしいということもあった中、J:COM はやり方を考え制作していただいているのはありがたく感じた。

委員

J:COM でなければ取り上げない話題をやっている、誰かしらに関心があるものを扱うのがとても良いと感じる。出演が縁となって、区ともつながり、ありがたい。

■2020 年度の編成方針について説明（2021 年度の編成方針は 20 年度と同様となる）

◆編成方針 事業者

<J チャン>

- 1 地域メディアとして、必要不可欠な存在を目指す
- 2 地域のネットワークを結び情報入手・発信の強化
- 3 特番関連番組の拡充

<J テレ>

- 1 地域の魅力を全国発信する番組
- 2 地域の活性化を図り地域ニーズに応える番組
- 3 スポーツ、エンターテインメントと地域をつなぐコンテンツの充実

コロナの影響でどこまでできたか不十分なところもあったが、21 年度も含め進化させていきたいと考えている。このような危機下であるからこそコミュニティ c h はやっていかなければいけないと考えている。

「デイリーNEWS」を進化させ「つながるNEWS」を始めた。変更点は、今までは行政・イベント取材が中

心だったが、カテゴリーを8個に増やし話題を提供するようにした。

取材が難しい中、ゲストには ZOOM での出演していただいたが、画面越しのため緊張感が良い意味で薄れ、本音を引き出したこともある。

補足 事業者

・本年度は、高校野球などは無観客での特別な開催の中、試合を弊社で放送していった。撮影方法を工夫したり、選手に対しての応援メッセージ等も多数いただいた。双方向で思いが通じ合う番組として、このような取り組みはコロナ禍後も使えると考えている。

・J テレもオンラインを使った番組が多くあり、地域外への PR もできるチャンネルとなっている。

◆審議

委員

・コロナ禍の中どのような取材方法があるのか・取材先の模索しながら1年過ごしてきたと思うが与えられた中で最大限の工夫をしてきたと思う。

・地上波でも子どもたちの大会や発表の場がつぶれる等の企画を放送しているが、放送することで地域の人に見てもらえる緊張感をテーマとして取り上げるのも良かったと思う。

・卒業式・入学式も無い方もいる中で、学生が主役になるような取材がほしかった。コミュニティ c h は、地域の同世代の活動が見られるし、家族・親戚も、その頑張りを見ることが出来る。今だからこそのテーマとして今後に向けても必要と感じる。学校が NG の場合、取材は難しいが、地域のことを様々な視点で取材をしてほしい。

委員

(学校と番組の関わり) 校内の感染防止のため、外部からの入出制限をしている。入学式は校庭で行い、在校生や保護者の制限もあったが、今は緩和している。オンラインをつかった放送は、今後タブレットを配布するので考えられると思う。教師が動画等の教材を作り発信していたところもある。公共交通機関を使わずに、校外学習、体験をオンラインで行った。寺社伝統工芸等を紹介し、実際に行きたいと考える子も増えた。今後もコミチャン取材を通じて、区の新しい施設・他区の紹介もしてほしい。

委員

保護者視点でも、子供たちや学校の活動が見られないことがある中で、オンラインを上手に使い修学旅行をおこなったりもしていた。そのような時代の流れがある。我々の世代とは変化していることもあるし、一方で伝え続けたいこともある。出演を喜ぶ子もいるが、人によっては顔を出すのは嫌がる時代なので取材が大変と考える。上手に取材いただけると嬉しい。

委員

・長々と散歩や人図鑑は他区でも放送しているがテイストが似ていて、中野のオリジナル感がない。旧社のころは様々な中野独自の番組があり、制作を手伝ったこともある。他区との差別化にもなるような中野オリジナルの番組がほしい。

・今年は子供の顔がテレビに出ない一年だった。毎年地域の小学校の記念行事を取材頂いているが、桃園第2小学校は100周年というタイミングなので子供たちのためにやれることを全部やっていきたい。是非多く取材で取り上げていただきたい。

委員

・地域商店街としても、なかなかイベントなどのコンテンツを提供できなかった。これから活動していく上で J:COM との窓口と、連絡を密にとっていきたい。一般の方からも、商店街に取材お願いされることもあるので窓口をわかりやすいところに案内がほしい。高校野球の放送など望んでいることを放送していただいたのはありがたい。地上波との違い・J:COM の強みを地域の人の声をきいて番組を作してほしい。また、ワクチン接種情報等を一早く放送してほしい。

事業者

・区のワクチン接種情報までは地上波では放送難しい。区内のワクチン情報の取扱い方を確認しつつ、情報発信を検討していきたい。
・J:COM の窓口は、地域プロデューサー宛にお願いしたい。

委員

J:COM 窓口との連絡を、SNS などを活用することは出来るのか。(LINE 等)

事業者

番組情報などの情報発信に SNS 活用の推進はしているが、現状、個別のご連絡方法として LINE 等が使えるような規定・環境になっていない。サービスに関するお客様とのご連絡方法には SNS 活用も始まっているので、運用検討も出来るのではないかと考える。

委員

ワクチン情報は医師会とのホットラインはあるのか？最新情報は医師会にあると思うのでパイプを強めてほしい。区独自の情報として医師会とのつながりを使い情報提供していただきたい。

委員

・ワクチン情報については、区と J:COM の連携が大事と考える。現在中野区では、情報発信を強化している。J:COM では、区で発信した情報を広くお知らせいただくのが良いと考える。具体的には区の情報はここに出ている等。PCR 検査やワクチン接種は、医師会も関わるが、主体は区になる。区の発信力をつよめ J:COM に後追いしていただく形が良い。編成方針は区としてありがたい。

・ど・ろーかを強化して、自分の見たいタイミングやピンポイントを見れるようにしてほしい。

まだ使い勝手・操作性に課題があり、ピンポイントで見たいところへ辿りつきにくい。

・区で拾えない情報を提供していただけるのはとても助かっている

事業者

アプリ改善に向けて、頂いた声を伝えさせていただく。また、新しいアプリ開発も進んでおり、リコメンド機能など、必要な情報を必要な方にお伝えする仕組みを強化している。

事業者

旧社から現在の会社になり、規模が大きくなってできることが増えたが、昔はもっと身近な会社という声も聞こえる。またコンタクト先がわからないなど聞くがどうか。

委員

一般の方が取材希望を伝えるには勇気がいると思う、気安く情報提供できるようになっているとありがたい。

委員

・数年前より、地域団体、イベント団体、商店街、町会、観光協会、J:COM で定期的な意見交換会をしないかと提案しており、そのような機会があれば、突発的取材依頼もなくなる。事務局を J:COM にしていただきたい。J:COM が情報集約するのが適任と考えており、地域情報一元化できる場所が出来ると良い。区内経済 5 団体は定期的に事務局長会議を行い会議等スケジュールはスムーズに回っている。双方協力的になる等の良いポイントがあるので定期的に開催してほしい。行政やメディアが参加していく形で、地域情報が円滑に回る流れがあると良い。

事業者

是非やっていきたいと考えている

委員

編成方針と違うかもしれないが、子供たちの立場で今の情報・未来の情報だけではなく、過去・変化の情報を発信してほしいと考えている。学校 町の歴史その変化の情報提供も、番組方針に入れてほしい。

事業者

他局でまちの歴史を掘り起こす企画コーナーはあり、好評だった。ニュースのコーナーとして始めて、好評ならば企画として提案したい。都市部は流入者が多く地元を知らないことも多い。地元メディアとしてそのような番組も検討していきたい。

委員

区にはデータとしてアーカイブはあり、NPO が発信を行っている。今後、区のデータも出していきたい。長々と散歩などでも過去の部分も出していきたい。

委員

これからの再開発情報を月 1 ぐらい特集してほしい、UR 跡地の進捗 施工状況の発信、完成予想図等の提供など、区民も一緒に開発していると感じられるよう、情報発信してほしい。区報で発信していても知らない人も多いし、区民が入れない開発場所の様子なども情報発信してほしい。

事業者

多くの人が工事現場を覗いており関心が高い。近所の方も、完成像など分からないことも多いと思うので、地域メディアとして発信していくべきと考えている。

5. 閉会

以上